

特定健診とは

iDA健康保険組合

40歳から74歳の方には特定健診が実施され、その健診結果のリスクに応じて特定保健指導が実施されます。

これは、**糖尿病、高血圧、脂質異常症**など生活習慣病の該当者と予備群を減らすことを目的とした、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)に着目した生活習慣病対策なのです。

対象者は、**40歳～74歳**までの加入者全員(ご家族も含む)が対象です。

受け方は、

被保険者(本人)の方は、iDA健保で提供している**一般健診・生活習慣病健診人間ドック健診**を受診すれば特定健診を受診したことになります。
(これらの健診には特定健診項目が含まれています。)

被扶養者(家族)の方も同じくバリューHRの健診システムから**一般健診・生活習慣病健診・人間ドック健診等**を受診すれば特定健診を受けたことになります。

特に、家族の方は、自主的な受診とされており受診率は低い傾向にあります。そこで、特定健診により、メタボリックシンドロームに焦点を当て、高血圧、脂質、高血糖、肥満など生活習慣病に発展しそうな芽を早期に摘み取り、重症化を防止し年々拡大していく医療費支出に歯止めをかけようというものです。

特定健康診査の目

早く改善に取り組むために、早く気づくことが大切です。

健康なとき、人は誰も「自分だけは病気にかからない」と思いがちです。病気の元は意外と身近な生活習慣にあることが多いのです。多くの生活習慣病は自覚症状が無いまま病気が進行することが多く見られます。放っておくとメタボリックシンドロームに当てはまる人(該当者)または、なりそうな人(予備群)となり病気の発病につながります。少しでも早く見つけ出し、早く改善に取り組むことが大切です。



特定健康診査での検査項目

特定健診の検査項目については以下のとおりです。

必須	診察	質問・・・問診
		計測・・・身長、体重、BMI、腹囲
		理化学所見・・・身体診察
	脂質	中性脂肪
		HDLコレステロール
		LDLコレステロール
肝機能	AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GPT	
代謝系	空腹時血糖、またはHbA1c(どちらか一方で良い)	
尿・肝機能	尿たんぱく	
医師の判断で実施	血液一般	ヘマトクリット値、血色素測定、赤血球数
	心機能	心電図
	眼底検査	-

※特定健診は、政府の定める基準未満の受診率ですとiDA健保はペナルティーの対象となり皆さまの保険料率等に影響を与えますので、ご自身の健康及び健保運営にご協力いただく意味合いからも必ず受診しましょう。